



主な内容

- 2……第67回人権週間(12月4日~10日)関連行事
- 3~6……なばり市議会だより
- 8……「広報なばり」が自宅のポストに届きます!、12月の相談

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp

本日11月8日は、市総合防災訓練です。午前9時ごろ、緊急速報メールなどが配信されます。

素早い通報や適切な救命処置が命を救うー



名張消防署 救急救命士 澤田 陽介

目の前で人が倒れた。そんなとき、その場に居合わせた人がすぐに救命処置を行うと救命率が高くなります。今回、救命リレーが功を奏した事例を紹介します。

ある土曜日の午前9時頃、40歳代の男性が歩行中突然倒れ、近くで洗濯物を干していた女性が発見しました。女性は携帯電話で119番通報し、隣人男性に助けを求めました。隣人男性はすぐに倒れた男性に駆け

寄り、男性の意識が無く、呼吸も止まっていたいました。直ちに胸骨圧迫を開始し、救急車が到着するまで続けたそうです。救急車は通報から5分不到着。救急隊がAEDで、除細動(電気ショック)を行うと心臓は動き出しました。その後救急車内で呼吸も回復し、病院での治療の結果、意識も回復しました。1カ月後には社会復帰を果たし、仕事を続けていると家族から手紙をいただきました。

この事例では、身近にAEDはないものの、素早い通報や適切な救命の処置が行われた結果救命できた事例です。この救命処置を行った男性も消防署で実施している救命講習を受講していたと聞いています。皆さんも大切な命を救うために救命講習の受講を願います。

11月9日は 119番の日 特集

急病や不慮の事故に遭遇したとき、119番通報すると現場に駆け付け、冷静に応急処置を行ってくれるのが救急隊員です。しかし、救急車が到着するまでの間、私たちは、何ができるのでしょうか。

今号では、救急の現場で活動している名張消防署 澤田救急救命士に話を聞きました。

名張消防署 ☎63-0999

通報から救命がスタート 救える命を 救うために



心肺蘇生法やAEDの取扱いなどを講習する救命講習会

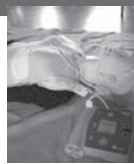
救命講習会の開催日程など詳しくは、名張消防署(☎63-0999)までお問い合わせください。



その場にいる人たちが、心停止を起こした人を救うAED。

AEDって市内のどこにあるの?

市では公共機関の他に「なばりまちのAEDステーション設置事業」により、今年の7月から市内の24時間営業のコンビニエンスストア全店にAEDを設置。救急車が来るまでの間に応急手当のためAEDを借用することが可能となっています。



119番通報のポイント!



名張消防署(通信指令室) ☎63-0999

通報は慌てず落ち着いて教えてください! まず、火事か救急かをお聞きします。



- ① 火災の場合
「どこで」「何が燃えているか」を問いかけて従って教えてください。また「逃げ遅れ、けがの有無」なども具体的に教えてください。
- ② 救急の場合
「どこで」「誰が」「どうしたか」を問いかけて従って教えてください。また、容体により、折り返しの電話で応急手当の協力をお願い

することがあります。



- ③ 携帯電話から通報する場合
局番なしの119番です。車の運転中の場合は、安全な場所に停車して通報してください。場所が分からない場合は、「〇〇の前です」など近くの目標物を教えてください。電波状況により近隣の消防本部につながる場合がありますが、管轄の消防本部に電話を転送するなどの対応をします。